

新しいクオリティへ、新しいスピードで。

『リそな』

HUMAN COMMUNICATION

平成22年3月期 第2四半期

(平成21年9月中間期)

決算発表時説明資料

平成21年11月13日

 **リそなホールディングス**
RESONA

(単位: 億円)

I. 平成21年9月中間期のハイライト

■ HD連結中間純利益: 前年同期並みの855億円... Page1,2

⇒ 前年同期比△7億円(△0.9%)減益、予想比+555億円(+185%)増益

- ・東京本社ビル売却影響除き: 前年同期比+612億円増益
 - ⇒ 与信費用が前年同期比△646億円(△48.4%)減少
- ・予想比増益: トップライン収益が堅調、与信費用(銀行合算: 予想比△137億円)、税金費用等が減少

■ トップライン: 予想比堅調な進捗、市場部門が好調... Page1,2,3,4

- ⇒ HD連結粗利益: 3,469億円、前年同期比△279億円(△7.4%)
 - ⇒ 減益の太宗: 利下げ影響等による資金利益の減益 ⇒ △197億円(△7.2%)
- ・預貸金利益: 減益乍ら、預貸金利回り差は1.81%(計画比+2bp)を確保
- ・役務利益+信託報酬: 減益乍ら、投資商品販売額は前年同期比8割超迄回復
- ・債券関係損益: 金利動向を的確に捉え、前年同期比+135億円増益
- ⇒ 実勢業務純益(銀行合算): 1,393億円、予想比+133億円(+10.5%)増益
 - ⇒ 債券関係損益が牽引、厳格運営による経費減少(予想比△58億円)等が寄与

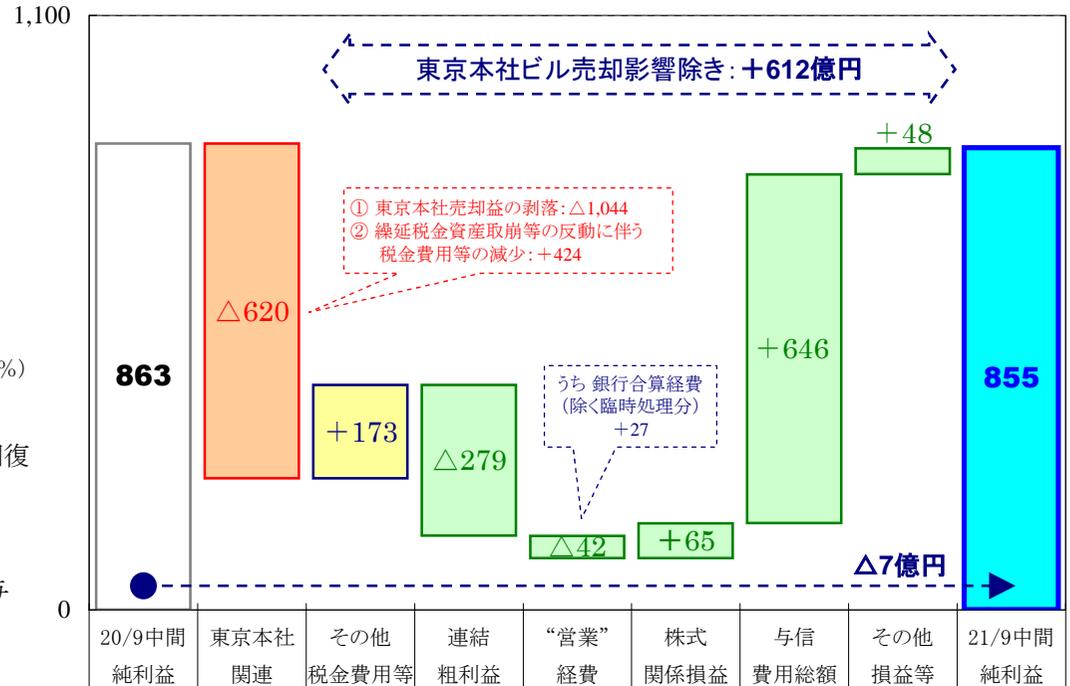
■ ボトムライン: ダウンサイドリスクは後退... Page5,6,8

- ・与信費用: 新規発生額は前年同期比約7割減(りそな銀行)
- ・21年9月末その他有価証券評価差額(銀行合算): +1,192億円
- ・21年9月末HD連結自己資本比率(速報値): 13.10%、同Tier 1比率: 9.73%

■ 公的資金返済に向けた資本政策を継続... Page7

- ・第9種優先株式の取得・消却(取得価額2,712億円)
- ・第三者割当による新株式(普通株式)発行(発行価額(総額): 1,036億円)
 - ⇒ 「自己資本の”質”向上」と「希薄化リスクの低減」を実現

○ HD連結・中間純利益の前年同期比増減要因



HD《連結》	中間期実績	
	金額	前年同期比
連結粗利益	3,469	△279
税金等調整前中間純利益	890	△605
中間純利益	855	△7

HD〈単体〉	中間期実績	
	金額	前年同期比
営業収益	219	△303
税引前中間純利益	180	△282
中間純利益	259	△322

	銀行合算〈単体〉 (21年5月公表)			りそな (21年5月公表)			埼玉りそな (21年5月公表)			近畿大阪 (21年5月公表)		
	【中間期実績】	前年同期比	予想比	〈単体〉	前年同期比*2	予想比	前年同期比	予想比	〈単体〉	前年同期比	予想比	
実勢業務純益*1	1,393	△238	+133	923	△185	+103	375	△58	+25	94	+4	+4
経費率(信託勘定処理考慮)	55.7%	+3.5%		55.6%	+3.5%		50.3%	+4.7%		69.8%	△0.8%	
税引”前”中間純利益	901	△504	+301	572	△577	+242	288	+44	+48	40	+28	+10

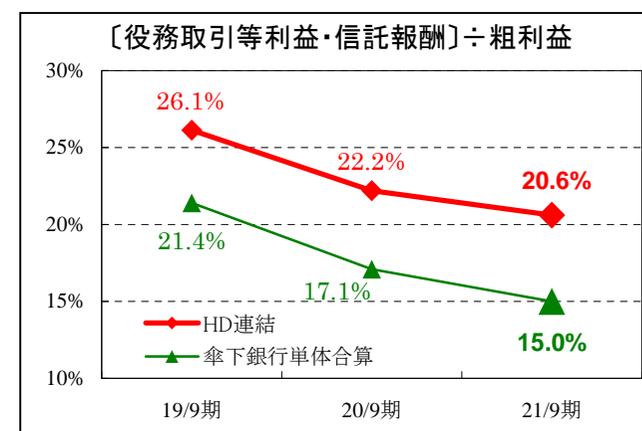
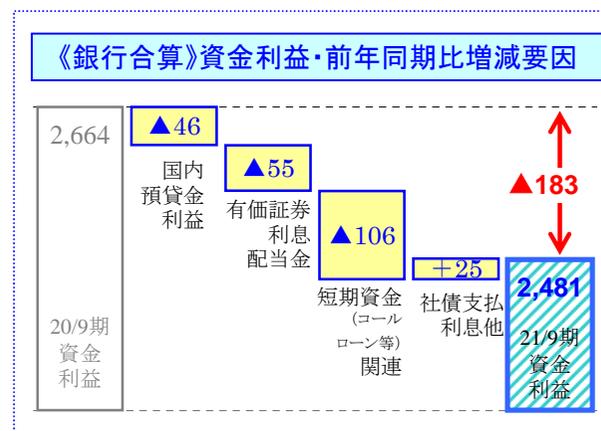
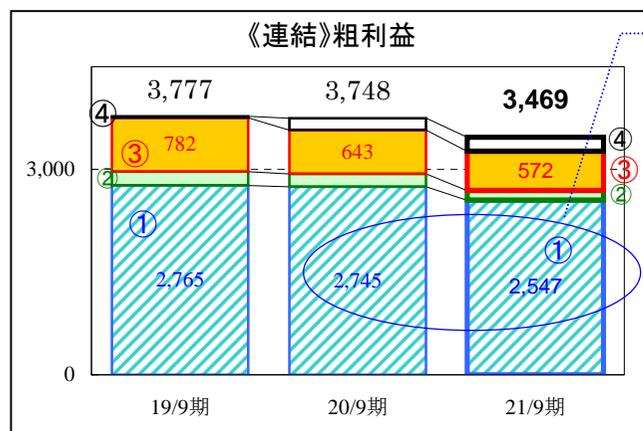
*1 実勢業務純益: 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益 *2 りそな信託銀行の前年同期実績を合算し、算出しております

注1): 金額については単位未満を切捨て表示

注2): 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅱ. 平成21年9月中間期の損益概要等

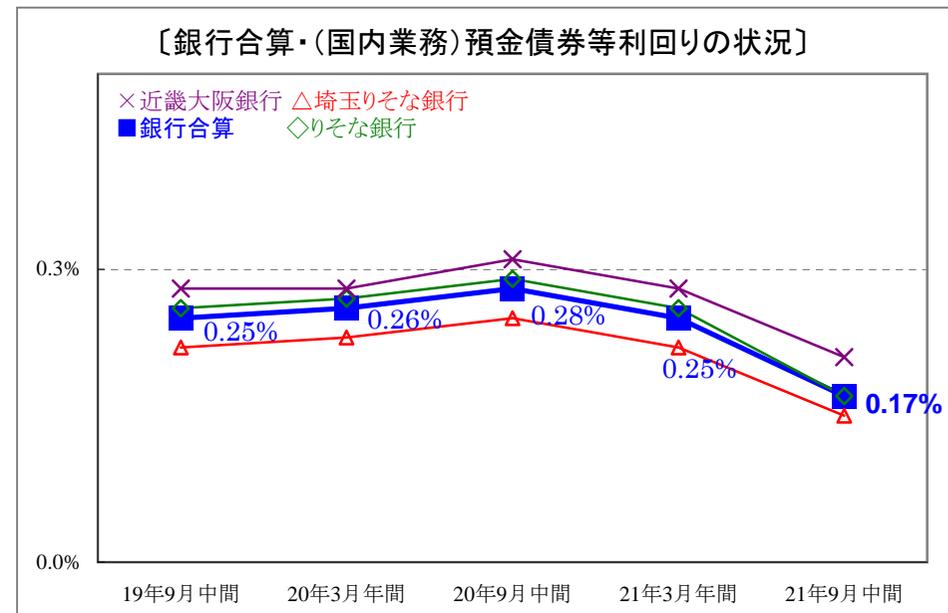
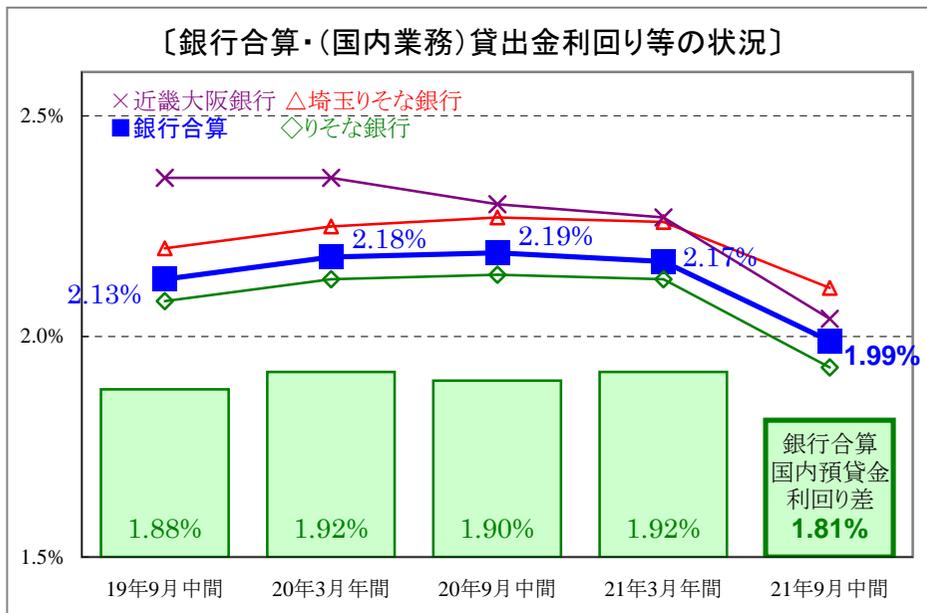
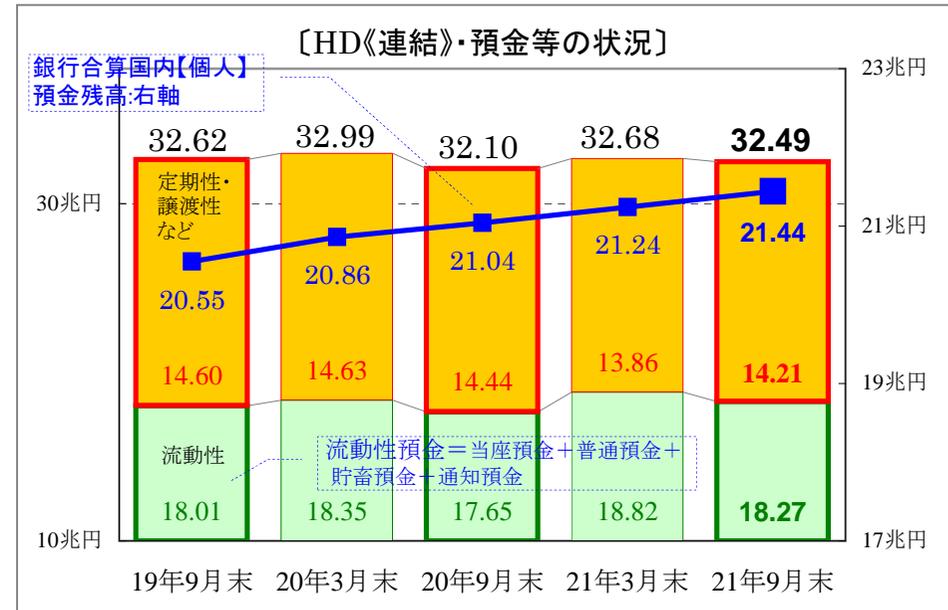
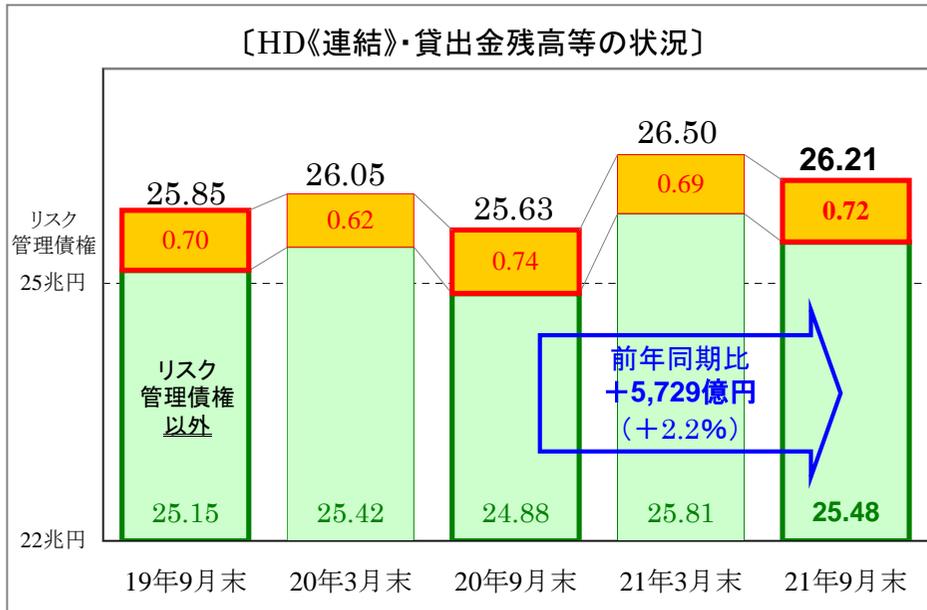
	HD《連結》		連単差 (A) - (B)	傘下銀行 単体合算		うち			連単差(A) - (B)の 内訳など 〔概数〕
	(A)	前年同期比		(B)	前年同期比	りそな 〈単体〉	埼玉りそな	近畿大阪 〈単体〉	
粗利益〔連結/業務〕	3,469	△279	+317	3,151	△267	2,082	756	312	
① 資金利益	2,547	△197	+66	2,481	△183	1,536	682	261	カード34他
うち国内預貸金利益				2,271	△46	1,446	594	231	預貸金利益:国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む
② 信託報酬	144	△43	—	144	△43	144	—	—	
③ 役務取引等利益	572	△71	+243	328	△69	225	64	38	保証143、カード80、他
④ その他業務粗利益	204	+33	+7	197	+28	175	9	11	
うち債券関係損益	144	+135	—	144	+135	125	11	8	
実勢業務純益				1,393	△238	923	375	94	(信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
“営業”経費(△)	1,943	+42	+143	1,800	+46	1,183	390	225	カード70、保証15、のれん償却36他
株式関係損益	15	+65	△6	21	+44	7	3	11	キャピタル△6
うち減損	△25	+90	△7	△17	+69	△17	△0	△0	
与信費用総額(△)	687	△646	+174	513	△751	376	86	50	保証107、カード37、他
その他損益等	37	△995	△4	41	△986	42	6	△6	
税引“前”中間純利益	890	△605	△10	901	△504	572	288	40	
税金費用ほか(△)	34	△597	△52	87	△605	△45	122	9	少数株主利益10、HD他税金費用他△63
税引後中間純利益	855	△7	+42	813	+101	617	165	30	



注1: 金額については単位未満を切捨て表示

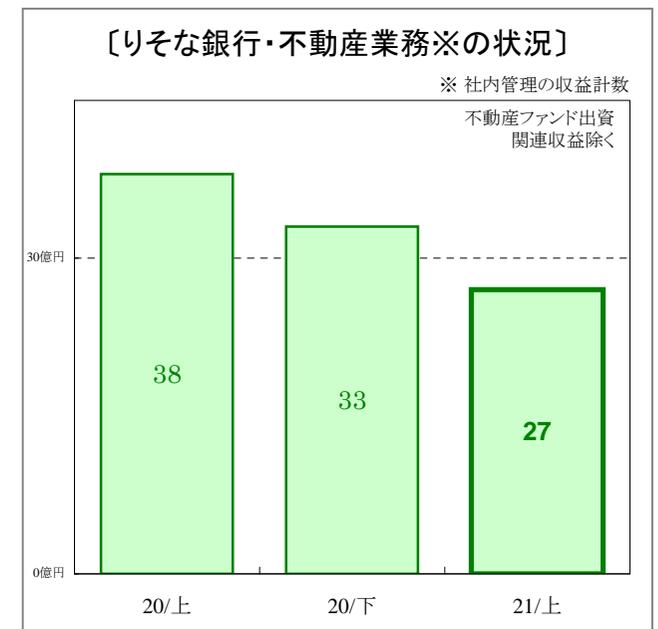
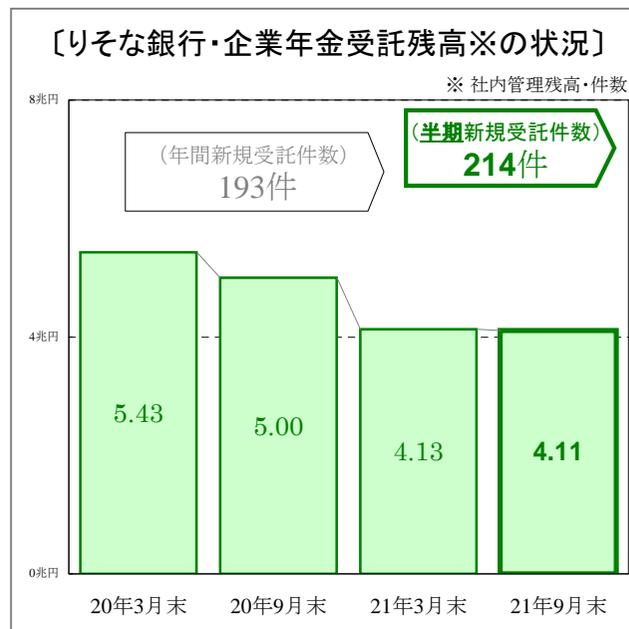
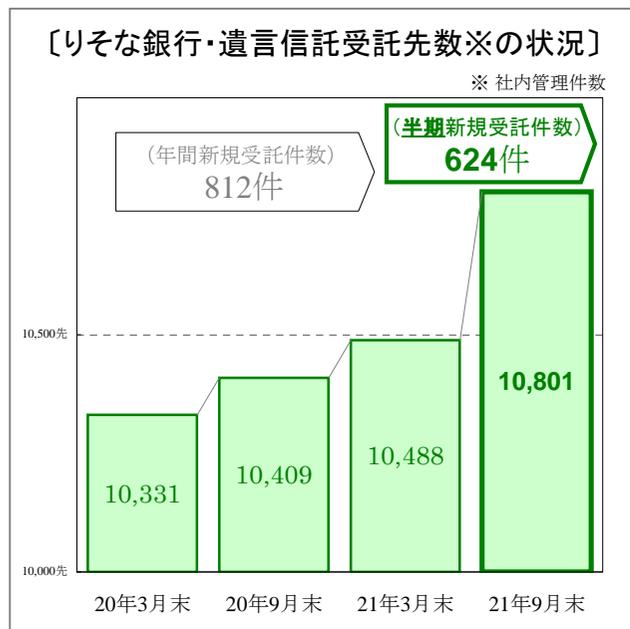
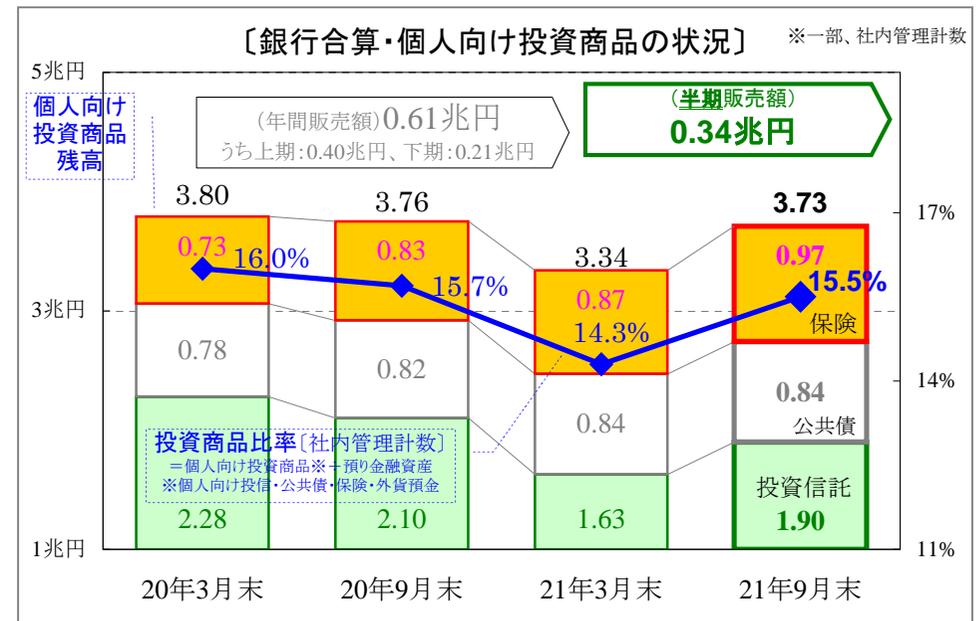
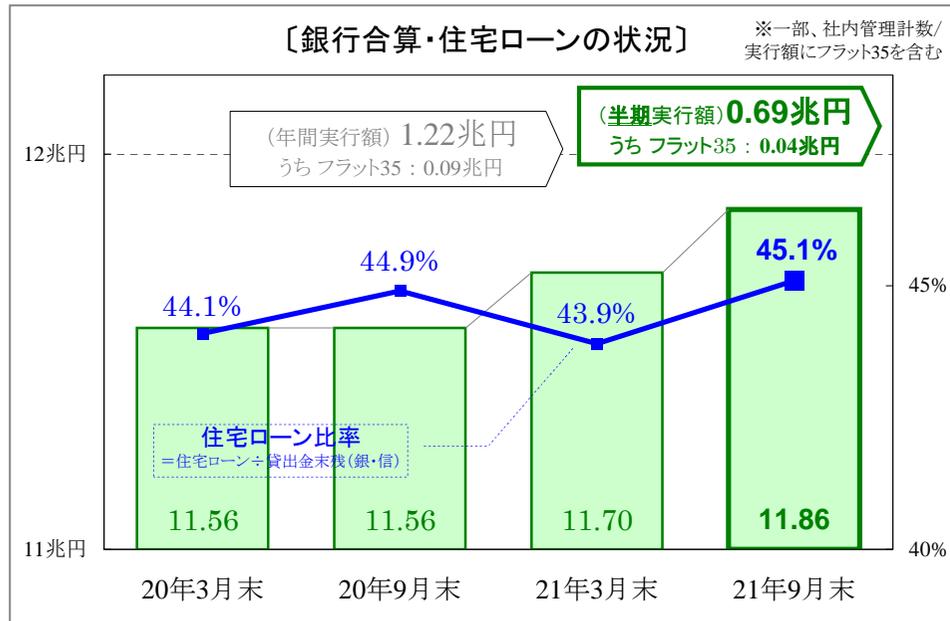
注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況



注1: 金額については単位未満を切捨て表示
注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

IV. 重点ビジネスの状況



注1: 金額については単位未満を切捨て表示
注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

(単位:億円)

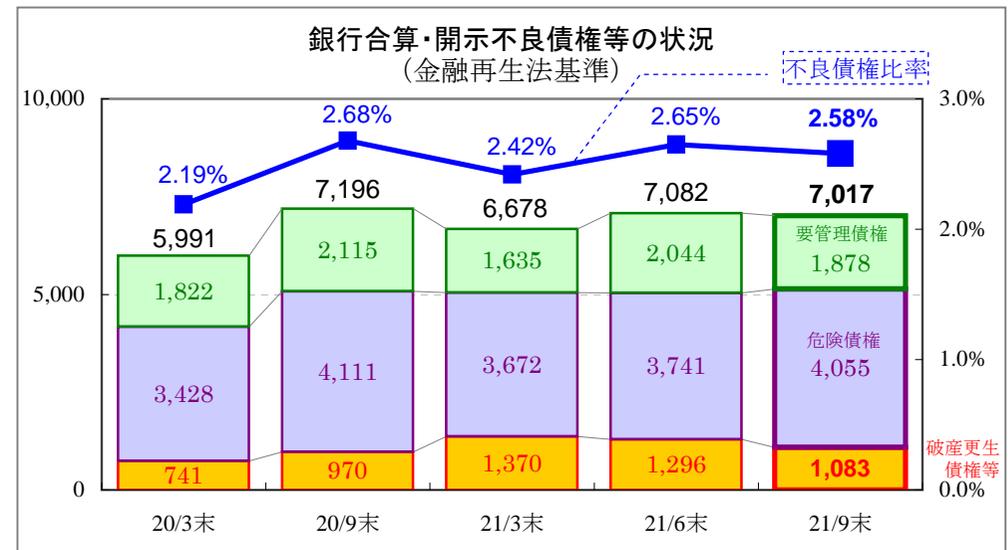
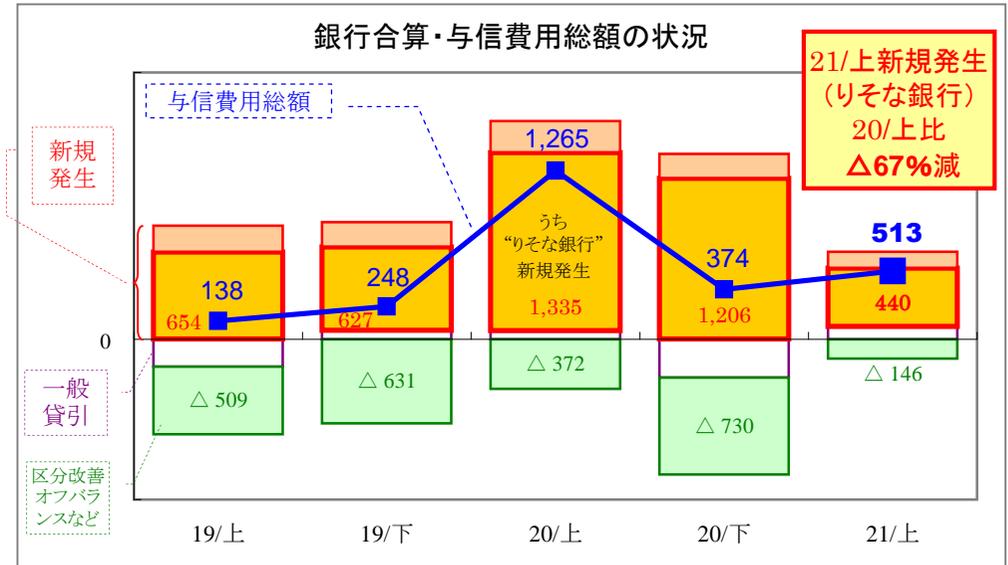
V. 与信費用・開示不良債権の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
信託勘定処理	△0	△0	—	—
一般貸引繰入額	97	40	48	8
個別貸引繰入額	276	226	28	21
償却他処理額	256	192	32	31
償却債権取立益	△117	△83	△21	△12
与信費用総額(△)	513	376	86	50
① 新規発生	563	440	61	61
② 区分改善	△38	△33	△2	△3
③ オフバランスなど	△107	△70	△20	△16
④ 一般貸引	95	38	48	8

- ① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失
- ② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
- ③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算
- ④ 実質的な一般貸引当金の繰入・戻入をネットした影響等(一部、目的取崩等を考慮)

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	1,083	727	172	183
危険債権	4,055	2,990	652	412
要管理債権	1,878	1,422	269	186
開示不良債権計	7,017	5,140	1,094	782
21年3月末比	+338	+213	+89	+35
不良債権比率※1	2.58%	2.86%	1.70%	2.83%
21年3月末比	+0.16%	+0.18%	+0.14%	+0.12%

※1. 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計(総与信)【銀行合算】

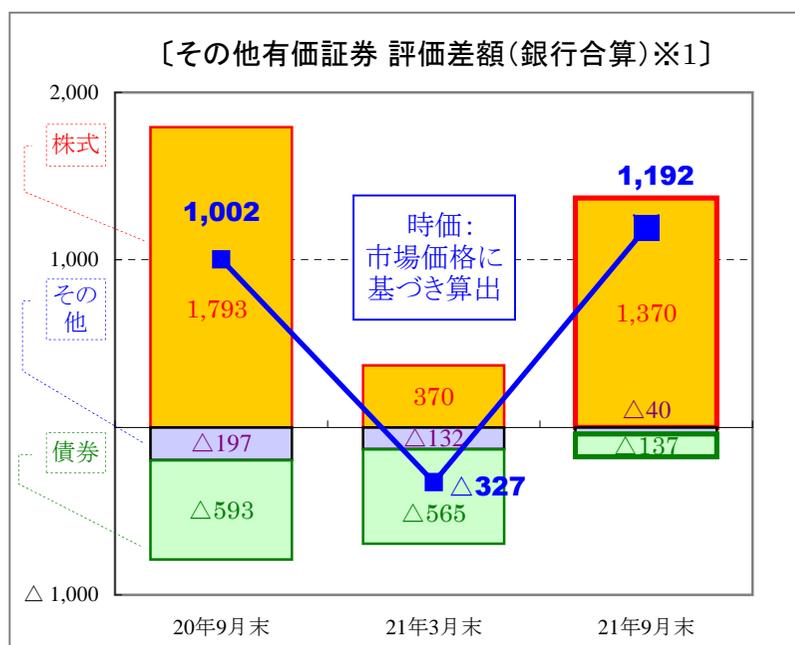


注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

(単位:億円)

VI. 有価証券の評価損益等の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
満期保有目的	222	42	129	50
その他有価証券	1,192	842	365	△16
21年3月末比	+1,519	+1,026	+440	+53
債券	△137	△146	6	3
うち変動利付国債	△154	△120	△31	△2
株式	1,370	976	379	15
その他	△40	13	△19	△35



VII. 証券化商品の保有状況

	残高	評価損益
海外組成	—	—
サブプライム関連	サブプライムローンに関連する投融资残高はなし ※「決算説明資料」Page14 注記も併せてご覧ください	
国内組成	2,306	△28
裏付資産:国内	2,306	△28
住宅ローン	2,015	△21
商業用不動産	160	△7
その他	130	△0
裏付資産:海外	—	—
合計※2	2,306	△28
21年3月末比	△214	+4

※1.「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部を含む。時価のある有価証券のみを対象として記載しております。なお、時価は市場価格に基づき算出しており、企業会計基準委員会「実務対応報告第25号」を適用した時価の見直し、並びに「実務対応報告第26号」を適用した債券の保有目的区分の変更は実施しておりません。

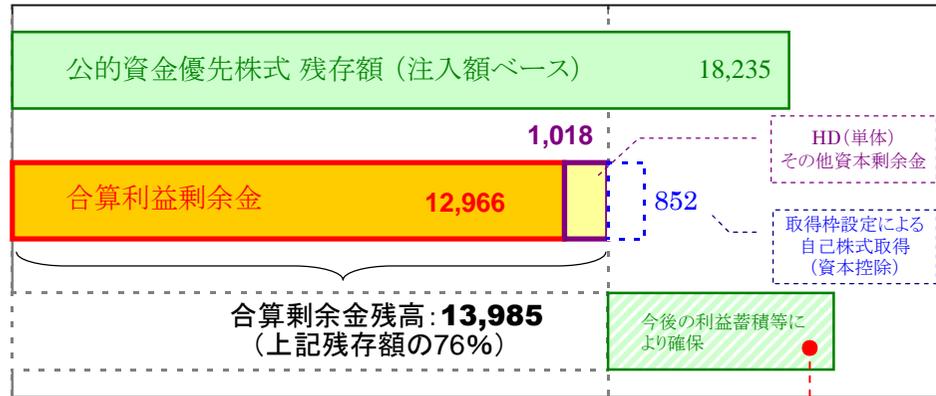
※2.「金融商品会計に関する実務指針」(平成19年7月4日改正)において有価証券として取り扱われるもののほか、直接保有する証券化商品。発行体の信用ではなく、特定資産のキャッシュフローを裏付に発行された証券化商品、企業の債務のキャッシュフローを裏付とする債務担保証券、およびこれらを裏付とする再証券化商品を含む。

注1:金額については単位未満を切捨て表示

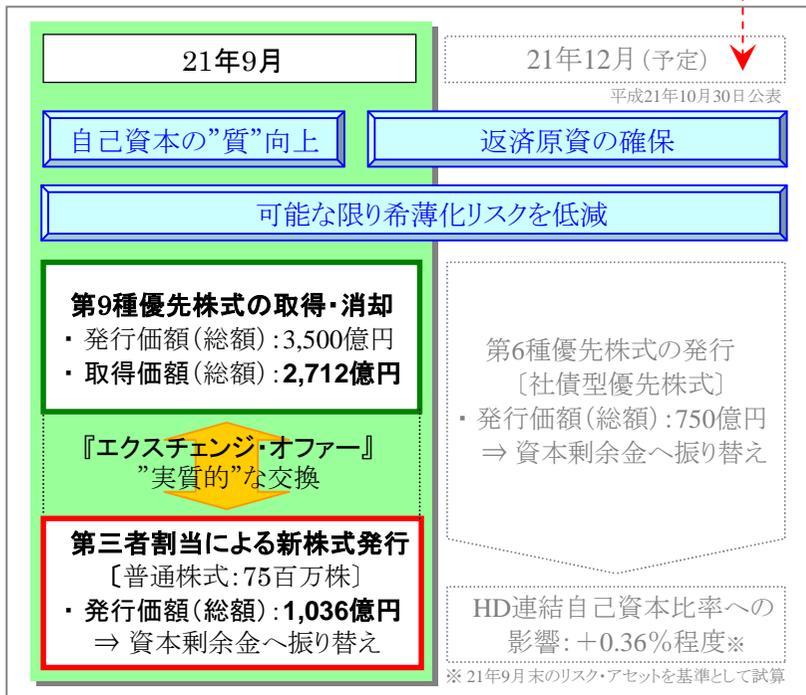
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

VIII. 公的資金の状況等

【参考】公的資金返済原資の蓄積状況(平成21年9月末)



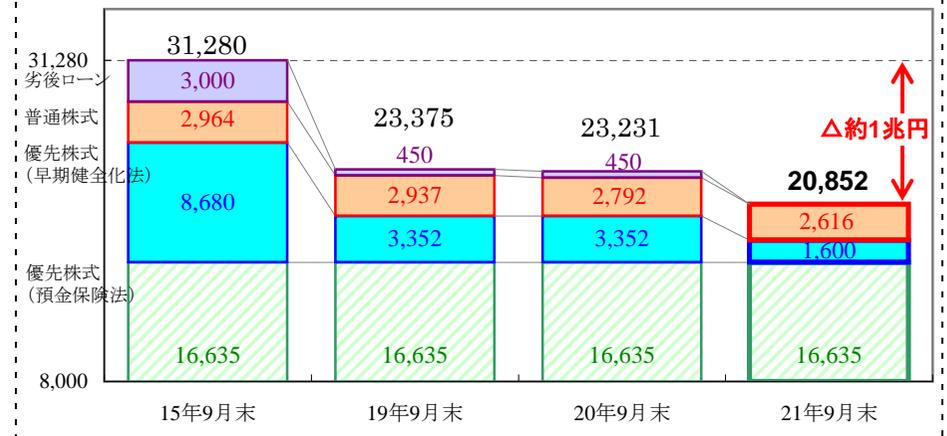
公的資金返済に向けた取組みなど



適切な自己資本比率の維持

可能な限り早期に公的資金を返済

	一斉転換 (初回コール)	15年9月末残高	21年9月末残高	
		①	②	②-①
公的資金合計		31,280	20,852	▲10,427
優先株式		25,315	18,235	▲7,080
早期健全化法		8,680	1,600	▲7,080
乙種	H.21.4	4,080	—	▲4,080
丙種	H.27.4	600	600	—
戊種	H.21.12	3,000	—	▲3,000
己種	H.26.12	1,000	1,000	—
預金保険法		16,635	16,635	—
第1種	定めなし	5,500	5,500	—
第2種	定めなし	5,635	5,635	—
第3種	定めなし	5,500	5,500	—
劣後ローン		3,000	—	▲3,000
金融安定化法		2,000	—	▲2,000
早期健全化法	H.21.3	1,000	—	▲1,000
普通株式	定めなし	2,964	2,616	▲347



注1: 金額については単位未満を切捨て表示

注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅸ. 自己資本比率の状況

	20年9月末	21年3月末	21年9月末〔速報値〕	
		①	②	②-①
HD連結・自己資本比率(第二基準)	14.84%	13.45%	13.10%	△0.35%
Tier 1比率	10.92%	9.92%	9.73%	△0.19%
繰延税金資産比率※1	14.62%	14.86%	14.19%	△0.67%
HD連結・BIS自己資本額	31,885	28,185	26,764	△1,421
Tier 1	23,467	20,788	19,886	△901
Tier 2	8,797	7,714	7,148	△565
控除項目(△)	379	316	270	△45
HD連結・リスク・アセット	214,790	209,448	204,302	△5,146
HD連結・総所要自己資本額※2	17,183	16,755	16,344	△411

【参考】

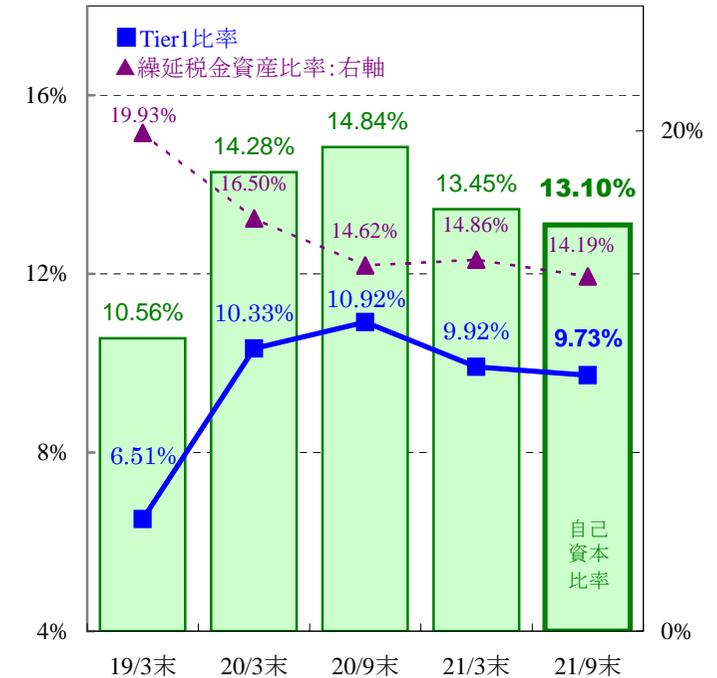
HD連結・自己資本比率(第一基準)※3	15.14%	13.65%	13.51%	△0.14%
Tier 1比率	10.81%	9.86%	9.62%	△0.24%

	りそな 《連結》	埼玉りそな 〈単体〉	近畿大阪 《連結》
自己資本比率(国内基準)	10.68%	10.78%	10.08%
21年3月末比	+0.69%	+0.24%	+0.41%
Tier 1比率	7.30%	6.42%	5.83%
BIS自己資本額	15,437	4,127	1,806
21年3月末比	+556	+180	+23
Tier 1	10,556	2,458	1,045
Tier 2	5,358	1,772	761
控除項目(△)	477	102	0
リスク・アセット	144,438	38,275	17,907
21年3月末比	△4,515	+862	△523
総所要自己資本額※2	11,555	3,062	716
21年3月末比	△361	+68	△20

注1:金額については単位未満を切捨て表示

注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

【参考】HD連結・自己資本比率(第二基準)の推移



※1 繰延税金資産の純額+Tier 1

※2 りそなホールディングス及び傘下銀行は国内基準行ですが、総所要自己資本額の算出にあたり、基礎的内部格付手法を採用しているりそなホールディングス、りそな銀行、埼玉りそな銀行は「リスク・アセット×8%」により算出しております。また、標準的手法を採用している近畿大阪銀行は「リスク・アセット×4%」により算出しております。

※3 平成20年金融庁告示 第79号第2条第2項を適用して、「その他有価証券」のうち国債等に係る評価損を勘案せずに基本的項目(Tier1)を計上する一方、補完的項目(Tier2)の算出にあたっては、評価益を勘案しないで算出しております。上記告示を適用しない従来基準に基づく平成21年9月末連結自己資本比率は13.48%、Tier1比率は9.62%です。

X. 平成22年3月期 通期の業績予想

	HD《連結》			
	(中間期実績)	[通期予想]	期初予想比	前年実績比
連結経常収益	4,613	8,600	+100	△1,192
連結経常利益	757	1,300	—	+156
連結当期(中間)純利益	855	1,200	+200	△39

	HD〈単体〉			
	(中間期実績)	[通期予想]	期初予想比	前年実績比
営業収益	219	390	+10	△1,465
営業利益	184	310	+10	△1,461
経常利益	184	310	+10	△1,483
当期(中間)純利益	259	420	+20	△1,321

期末自己資本比率見込

12%台後半

22年3月期末普通配当予想※1

10円

22年3月期末優先配当予想※1

所定の配当

※1. 配当状況・予想の詳細については「第2四半期 決算短信」表紙2.配当の状況をご覧ください

	銀行合算【概数】				りそな			埼玉りそな			近畿大阪		
	(中間期実績)	[通期予想]	期初予想比	前年実績比	[通期予想]	期初予想比	前年実績比※2	[通期予想]	期初予想比	前年実績比	[通期予想]	期初予想比	前年実績比
業務粗利益	3,151	6,140	△30	△613	4,070	△30	△550	1,475	+25	△55	600	△20	△2
経費(△)	1,757	3,560	△60	△62	2,370	△40	△53	765	△5	+17	425	△15	△25
実勢業務純益	1,393	2,580	+30	△547	1,700	+10	△493	710	+30	△72	175	△5	+23
経常利益	768	1,320	+60	+471	785	+25	+399	485	+25	+30	50	+10	+42
税引“前”当期(中間)純利益	901	1,660	+50	△533	1,100	+10	△612	500	+45	+39	65	△5	+46
税引後当期(中間)純利益	813	1,150	+150	△57	(連結納税制度を採用しております)								

株式関係損益	21	30	+30	+406	10	+10	+349	5	+5	+51	20	+20	+11
与信費用総額(△)	513	1,000	—	△639	720	△10	△587	180	△5	△64	100	+15	+13

期末自己資本比率見込

《連結》
10%程度〈単体〉
9%台後半《連結》
9%台後半

※2. りそな信託銀行の前年実績を合算し、算出しております

本資料中の将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

併せて、第2四半期決算短信【定性的情報・財務諸表等】1~3 連結経営成績・連結財政状態・連結業績予想に関する定性的情報、有価証券報告書、ディスクロージャー誌など各公表済の最新資料をご参照下さい。

注1: 金額については単位未満を切捨て表示

注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示